

多段テールアルメの施工法

「多段テールアルメ」は、テールアルメの特徴である柔軟性を利用した構造物である。しかし、スキンやストリップなどの材料がその柔軟性に対応できる範囲には限度があるので、できるだけ変位量を少なくするために施工を確実に行うことが重要である。

「多段テールアルメ」の施工も一般のテールアルメと変わらないが、全体としての規模が大きくなる場合が多いので、とくに注意すべき点についてのみ、つぎに述べる。

①「多段テールアルメ」も前項の「高い上載盛土のあるテールアルメ」と同様、非常に大規模な盛土となる場合が多いので、不良な表土を取り除き、良質な基盤を段切りして地山との一体性を持たせる。

②雨水などの表面水や地下水および湧水などの排水施設を十分に設置する。

③「多段テールアルメ」が変位を起こす場合、下段 T.A は上段 T.A の荷重により変位が発生し、上段 T.A は下段 T.A の変位により変位が促進されるので、それぞれのテールアルメの施工は慎重に行い、とくに盛土工は良質な材料で十分締固めなければならない。

④上段 T.A の基礎となる部分は極力不同沈下が生じないよう、良質な盛土材料で十分締固める。

⑤ストリップ背後の盛土工や上下段のテールアルメの中間盛土の施工も、テールアルメと同様の仕様により行う。

⑥テールアルメ壁面に沿って流下する水により埋戻し部が洗掘されないよう排水溝などを設けて保護する。

⑦壁面などの計測管理を行いながら施工し、異常な変位が発生した場合には、直ちにその原因を究明してその対策を立てる。

「多段テールアルメ」の施工は、安定した地盤に良質な盛土材料を用いて確実な施工管理を行えば、所期の目的に合致した構造物となるので、一般的な留意事項はもちろんのこと上記の施工上のポイントをよく理解し、慎重な施工を行わなければならない。